

都市災害時における交通情報の信頼性と 帰宅意思決定

植田 綱基¹・織田澤 利守²

¹ 神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻
E-mail: ota@opal.kobe-u.ac.jp

² 神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻

東日本大震災のような大規模な災害に見舞われた際、都市部では帰宅しようとする人々が道路や駅に殺到し大変な混雑が発生することが想定される。本研究では、都市災害時における人々の帰宅意思決定について分析を行うことを目的とし、交通混雑と都市内施設の混雑を同時に考慮した帰宅意思決定モデルを構築する。その際、利用者に提供される交通情報の不完全性や情報伝達の即時性と信頼性のトレードオフを明示的に考慮する。本研究では、これらの要素が利用者の厚生にどのように影響するのかを明らかにする。具体的には、交通情報の信頼性向上や利用者の交通情報の信頼性に対するより正確な認知が、必ずしも利用者の厚生を改善しないことを示した。

キーワード：都市災害，帰宅意思決定，交通情報の不完全性，交通混雑